



サツパ沢

現在進行形



サツパ沢地区の登坂路の改修を進めています。勾配の緩和と走路幅員の確保により安全で効率のいい走路を目指していきます。

また、従来の走路部分は掘削し、雨水の集積、貯留、排水機能のエリアとします。また、上部も掘削を継続中で、20mほど標高が下がりソフトポールができる程度の平場が現れました。晴れた日には北東から南西方向に名久井岳、折爪岳、西岳、七時雨岳、岩手山が眺望できる絶好のビューポイントとなりました。

しかし、いまだ製品対象となる原石層までは達していません。あせらず、くさらず、着実に進んでいきましょう。



～ 映画『空母いぶき』を観た！ ～

「空母いぶき」なんだそれ？日本に空母は無いだろう・と思われるかもしれませんが、日本国は専守防衛であり本来他国を攻撃するという目的がないため、攻める意味での空母は必要無いわけですが、近年中国が東シナ海はじめ海洋に覇権を広げてきており、空母を建造し増やしているようです。尖閣諸島には頻繁に中国籍の船が入ってきているようですが、防衛という意味で日本本土からはるかに離れた尖閣諸島を守るには空母が必要というわけです。そのようなことを映画にした「空母いぶき」を観てきました。事前に原作である漫画12巻を全部読み、中国を名指しにはできないだろうし、映画ではどのように描かれるのであろう…。観終えた感想は「ふくざつ…」映画を見ている中でとめどなく流れる涙、なぜ自分は泣いているんだらうと思いつつも涙が出てくる。原作者かわぐちかいじ氏が描く方向性とはちょっと違っているものの、漫画を読みながらこみあげてくる想いや涙は映画も一緒でした。でも、こうとしか映画では描けないのか！との限界も感じながらやはり「ふくざつ…」是非映画「空母いぶき」そしてさらに興味をもたれたら原作漫画も読んでいただければと思います。自国を守るということがどのようなことなのか考えさせられます！

灯台下暗し

二戸市の採石法関係の担当Sさんは山形市の出身である。どうして縁もゆかりもない二戸市の採用試験を受けたのだろう。不思議に思って聞いてみると二戸は「魅力いっぱい」なのだそうだ。その場にしていると意識しないが、改めて考えてみると都会には人工的に作られた人に満足を与えるものがある。かたや二戸は、無理に背伸びしない。飾り気がない。何気ない。そんな日常がある。「ない」ことが「ある」街なのだと思う。満足と幸福は微妙に違うのかもしれない。



腰痛考

Tさんが突然の腰痛で休職している。夜中に激痛に襲われ救急車で搬送されるという重症である。人間の動作は腰によって支えられている。歩く、走るはもちろんのこと、座っているときも腰を使っていることに気づく。社員の中でも5～6人は腰痛持ちである。潜在的に腰を呪われている人が大多数であろう。今月は年一回の健康診断がある。身体の手入れもしたいと思うのだが…

笹の花の吉凶



浄法寺に笹の花が咲いた。初めて見た。何せ120年に一度だそうだから、生涯見られない人もいるのだ。その意味では、なんとという僥倖。

しかし、笹の花は不吉の象徴とも言われており、令和の安寧を心配したりもしてしまう。



～ 1tの鉄塊にも5kgの技術 ～

コンクラッシャーのマンテル交換をした。キノコの笠のような鉄の塊である。何の変哲のないこの部品、値段は7桁もする。毎回密かにため息が出てしまう。

しかし、このマンテルによって生産性、品質、コストに影響を与える重要部品なのだ。材質、形状、寸法に技術やノウハウが込められている。そういう改善、改良、研究開発の恩恵を私たち砕石業は受けている。そう考えると「少しでも良くしていこう」とするコストはどういう業界でも認められるべきものである。コストに見合わない部分を削ったり、隠したりしていくと産業自体の退化につながると思う。



編集後記

我社は、二戸警察官友の会の会員且つ私は事務局を担当しています。

決して会員だからと交通違反の見逃し等はございません(笑)仕事とはいえ人が安全に暮らせるように、警戒活動をしていただいている警察官の方へ少しですが励ましていこうという会です！

興味のある方はフクタ砕石へお電話ください！